様式2

実大三次元震動破壊実験施設（Ｅ－ディフェンス）利用報告書

　　年　　月　　日

兵庫耐震工学研究センター長　殿

　　　［実験責任者］

機関名

 氏　名

 職　名

|  |  |
| --- | --- |
| 実験名 |  |
| 利用形態（該当する項目を■にしてください） | □自体研究　□共同研究　□受託研究　□施設貸与 |
| 震動台占有期間 | 年　　月　　日　　～　　年　　月　　日 |
| 実験主担当者 | 機関名：氏　名：職　名： |
| 要約 | *2頁以降の目的、実験方法、結果等を簡潔に貼り付けて下さい。* |
| 実験データ公開（該当する項目を■にしてください） | □する　　　　　□しない実験データ公開する場合は、最終加振実験日から起算して2年以内に実験データを防災科研に提供下さい |

*以下より、報告書記入をお願い致します。*

1. はじめに(背景・目的)
2. 実験方法
	1. 実験体制
	2. 実験内容（試験体・加振・計測等）
3. 研究結果
	1. 実験結果
	2. 当初計画との比較
4. まとめ
	1. 結果のまとめと考察
	2. 今後の課題
	3. 波及効果

*実験でのアピールポイント（従来に無い、世界規模、社会への普及）や成果の当該分野の研究開発や関連分野への波及効果（研究・技術の高度化、社会実装(経済的・社会的)、人材育成等）の見込み*

* 1. その他

*施設利用において、弊所の施設運用、安全管理等で良かった点、気づかれた点、要望などがございましたら記述下さい。(今後の運用の参考とさせて頂きます)*

*上記の章案はあくまで事例であり、独自に報告書や論文を作成されている場合は、貼り付けていただいても問題ございません。なお、4.3,4.4につきましては、可能な範囲で記述下さい。数量ですが、8ページ以下にまとめて下さい。*

*利用委員会での報告用のスライドは別途作成頂きます。本報告は結果説明の利用委員会委員でも配布致します。*